

【学校教育目標】 豊かな心を持ち、夢の実現に向かって自律的に活動する久里の子の育成

～ 元気・笑顔・思いやりがあふれる学校 ～



久里の子

唐津市立久里小学校

学校便り No.14

令和7年 3月 3日

文責： 宮本 克一

今年度も残りわずか！最後まで頑張ろう

いよいよ3月となりました。修了式が3月24日ですから、今年度も残り3週間となりました。今年の2月は大変寒い日が続いた関係で桜の開花が少し遅れてるようですね。現在、インフルエンザやコロナの児童がたくさんいるといった状況ではありませんが、今後も油断することなく「マスク着用」「うがい・手洗い」「換気」など感染予防対策もしっかり行いながら「卒業式」「修了式」を迎えたいと考えています。

さて、3月は卒業式や修了式があります。各学年のまとめの時期で子どもたちもたいへんあわただしい日々を過ごすこととなります。あわただしい中でもこの3週間の過ごし方は来年度のスタートに向けて大変重要です。学習面では今年度学習したことは今年度のうちに復習して、確実に身に付けること。また、生活面では4月からの自分の成長をあらためて見つめ直すこと。これらのことを意識して過ごし、新年度の新たなスタートラインに立ってほしいと思います。ご家庭でも励ましの声かけをよろしくお願いいたします。



【3月の予定】

★3月14日(金)・・・卒業式（給食なし）

★3月24日(月)・・・修了式 辞任式（給食なし）



6年生と久里地区老人会との交流会

小学校生活も残り少なくなってきた6年生が1月末に久里地区老人会の方々と交流会を行いました。会長の坂田祐二さんのあいさつや児童代表のあいさつをしたのち、いくつかのゲームをして楽しみました。子どもたちは日頃経験したことがないようなゲームに戸惑いながらも、老人会の方のアドバイスを受けながら楽しく活動できていました。最後にこれまでの小学校生活における地域の方々の温かい見守りに感謝の思いを伝えました。このような活動を通して、子どもたちの心の中にはどんな感情が湧いてきているのでしょうか。登校時にお世話になったことや子どもたちにとってのおじいちゃんおばちゃんとの交流を通して、人の温かさなど「心」が動かされるようなことがあればうれしいなと思いながら活動を見ていました。

